

株式会社マツダ

当社は長年に渡り継続的に最新鋭工作機械を導入し最短納期で多様な注文に応じられる生産体制を構築しています。材質からサイズまでを指定できる特注品の製作対応が可能となっております。近年は当社の製造する精密部品には、寸法が厳しい物が多いため高い技術力が求められます。さらに、製造現場などの生産環境から再構築を行うことで結果的に納期と品質の向上に繋がります。これらの積み重ねが顧客側から高く評価されています。

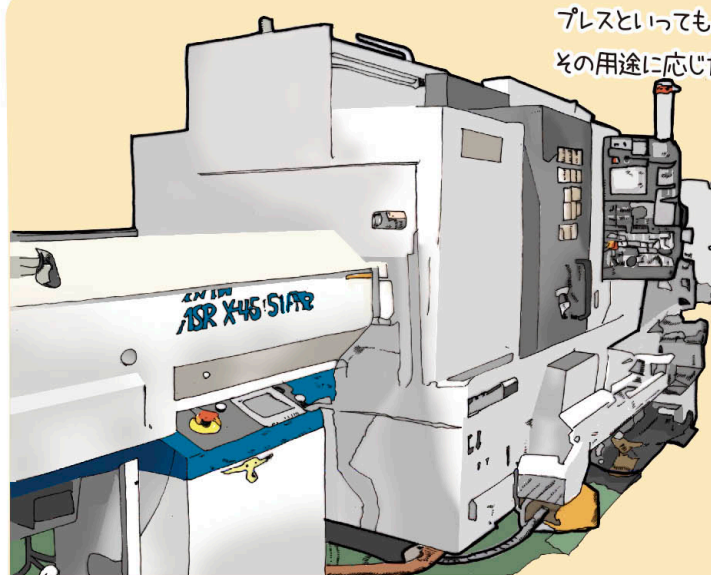
簡単かつ大量生産である物は、人件費の安さが求められるため海外へ。それとは真逆の高いレベルが要求される開発部品や高付加価値の製品は、必ず日本の技術力と対応力が求められていますので、その期待に応えるために社員全員が真剣に取り組んでいます。

お客様のニーズはバラエティに富んでいて、特に完成度が高い物が求められます。当社のこれからのモノづくりは職人技からデジタル技に置き換えスピード力も高めることが不可欠。柔軟性がある会社だからこそ、徹底した技術の追求も可能になると考えてます。

高度化が進む精密金型部品の
生産を可能にする生産体制と
フレキシブル発想と対応力に自信あり



品質管理部部長
松田俊宏さん



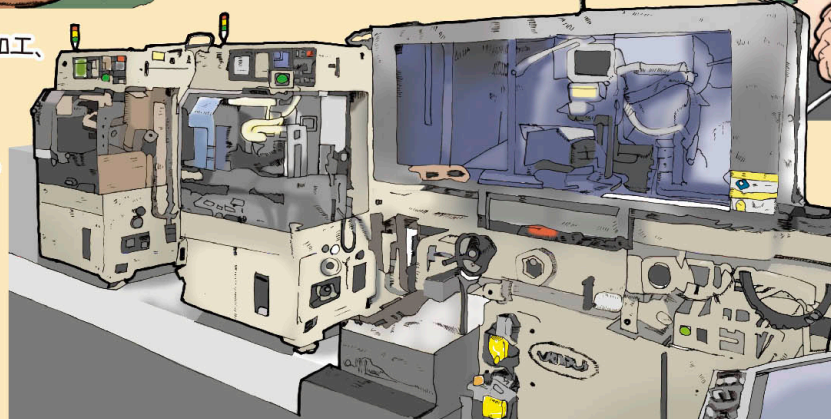
プレスといっても、穴あけ、絞りなど用途は様々。
その用途に応じた部品の質が求められる。

最終的に指定されたサイズや
形状になるよう、
研磨や焼き入れでの
ひずみを考えておく。

熟練の技や技術をもった
大阪のものづくり中小企業に贈られる
「大阪ものづくり優良企業賞」で、
「匠企業」に認定。

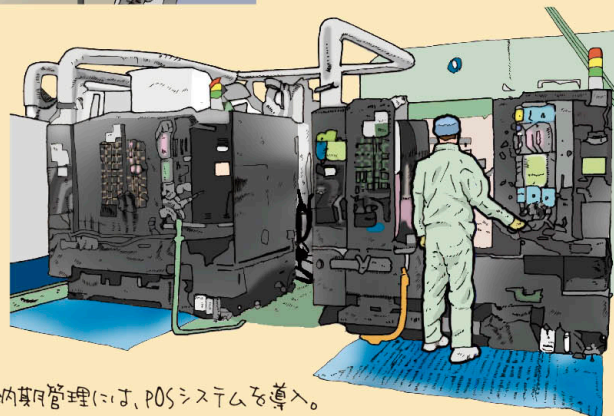
CNC旋盤、マシニングセンタ・切削加工、
ワイヤ放電加工、形彫放電加工、
3D測定器・レーザー外径測定器、
輪郭測定器・表面粗さ測定器など
最新鋭の機械を設備。

夜間の稼働率を上げること、
生産性を高めている。高精度、
短納期がズにつながる。



国内で求められるものは、
単純なものはない。

従業員は50人33。
ものづくりは変化するので、
常にスキルの上昇が求められる。
仕事にゴールはないんです



納期管理には、POSシステムを導入。

最新の設備機器に職人技で 超高性能な部品を製造する

同社は作業工具と大手切削工具メーカーの下請けとして、昭和35年に創業した。当初は作業工具を主としていたが時代の変化と共に高付加価値を目指し摩擦溶接機を導入し大手切削工具メーカーの摩擦溶接加工を行うことになる。昭和48年にはこれまでの培った技術を基にプレス用金型部品であるパンチ・ダイの製造メーカーに会社を大きく転換させた。

そもそもプレス加工とはプレス機の上に設置した金型の間に金属の板を挟み、プレス機にて大きな圧力をかけて金型と同じ形状する加工方法を意味する。同社はこのパンチとダイという金型部品を製造している。

パンチとは、上に付ける型で素材に接触するもの。ダイとは、パンチの受け型や下側で素材を支えるプレートなどのこと。プレスの方法は素材を抜いたり曲げたり絞ったりするが、同社が製造する金型部品は何千トン級の大型プレスや難成形材料を成形するサーボプレスに使用される。このようなプレス機でプレス加工される製品には僅かなダレやバリが発生するだけで不良品と判断される場合もあるため同社が製造するパンチ・ダイへの要求精度はより正確性が求められる。同社はそのクオリティを高い領域で実現し続けていることでこの分野における厳しい競争に打ち勝ち生き残っている。

顧客は、大半が大手との直接取引（自動車メーカー、精密部品メーカー、商社）が中心となる。業務の流れとしては、注文先から送られた製品図面、CADデータから社内の加工技術者が図面設計や解析を行い最新の工作機械を組み合わせて精度が厳しい切削加工や、削られた表面をきれいに仕上げる精密研磨加工も行う。また複雑な形状には、ワイヤ放電加工機や形彫放電加工機を使用する。これらは社内にレイアウトされた様々な高精度な工作機械を駆使し複合する工程を経て製造される金型部品は、3次元測定器、輪郭測定器、表面粗さ測定器などの検査機器で徹底した品質管理によって生み出される。

簡単な形状の部品は、人件費の安い海外生産になることが多く、日本品質に求められるのは難易度の高いものばかり。機械があれば簡単に加工できるのでは？と思いきや、部品の形状に応じて、使用する工作機械の選択から仕様や加工方法や条件までを考えなければならない。

そこに職人の技と経験が生きるわけで、仕上がりのほんの少しの差が金型に組み込んだ時の使い勝手に現れる。同社の強みは超高精度、複雑な形状にもスピーディーな生産が可能である。同社のパンチ&ダイを使ってモノづくりを行う顧客の同社に対する信頼はこのようなきめ細やかなサービス、サポートが理由だと言える。

株式会社マツダ

<http://www.matsuda-corp.com>

〒544-0012 大阪市生野区巽西2-11-25

TEL 06-6758-0121 FAX 06-6758-1113

事業内容／精密プレス用金型パーツのパンチ、ダイの製造

我が社の
自慢

ものづくり工場とは
思えない美しさ

整然と機械が置かれ、ゆったりとした雰囲気は部品工場とは思えないきれいさ。工場内をきれいにすることで、動線もよく、安全管理にもつながる。